

臨床医学系

内 科 学 講 座

膠原病・リウマチ

著 書

- 1 長澤浩平：成人スティル病．三森経世編：リウマチ・膠原病診療チェックリスト．252-257，文光堂 東京 2004．
- 2 長澤浩平：自己免疫—概論—．第3回アレルギー・臨床免疫を目指す人達の為の研修会 Text Book 65-69，2004．

学術論文

- 1 *馬場才悟，大田明英，小荒田秀一，牛山 理，多田芳史，鈴木憲明，長澤浩平：関節リウマチ患者のQOL—患者自身による評価と医師による評価との相異—臨床リウマチ 16：20-28，2004．
- 2 春田善男，牛山 理，小荒田秀一，多田芳史，長澤浩平，大田明英：肺塞栓症を発症した抗リン脂質抗体症候群合併全身性エリテマトーデスの2例．九州リウマチ 23：195-200，2004．
- 3 Koarada S, Haruta Y, Tada Y, Ushiyama O, Morito F, Ohta A, Nagasawa K: Increased entry of CD4+T cells into the Th1 cytokine effector pathway during T-cell division following stimulation in Behcet's disease. Rheumatology (Oxford). 43: 843-851, 2004.
- 4 Koarada S, Wu Y, Fertig N, Sass DA, Nalesnik M, Todd JA, Lyons PA, Fenyk-Melody J, Rainbow DB, Wicker LS, Peterson LB, Ridgway WM: Genetic control of autoimmunity: protection from diabetes, but spontaneous autoimmune biliary disease in a nonobese diabetic congenic strain. J. Immunol. 173: 2315-2323, 2004.
- 5 Koarada S, Wu Y, Yim YS, Wakeland EW, Ridgway WM: Nonobese diabetic CD4 lymphocytosis maps outside the MHC locus on chromosome 17. Immunogenetics. 56: 333-337, 2004.
- 6 小荒田秀一，長澤浩平：自己免疫疾患の重大合併症．神経合併症．臨床看護 30：974-977，2004．
- 7 長澤浩平：膠原病におけるステロイド治療の実際．臨床と研究 81：747-750，2004．
- 8 長澤浩平：SLEにおけるRP105陰性B細胞の役割．臨床免疫 41：696-700，2004．
- 9 長澤浩平：関節リウマチとその関連疾患の診療の進歩．佐賀県臨床整形外科医会会報 19：44-45，2004．

学会発表

- 1 春田善男，小荒田秀一，多田芳史，三田村未央，大田明英，長澤浩平：樹状細胞におけるTLR2，TLR4，RP105の発現について．第32回日本臨床免疫学会総会．2004，10，8-9．日本臨床免疫学会会誌 27(4)：247．
- 2 鐘江 大，佐々木茂，平 嘉代，中原快明，森内 昭，大橋昌夫，多田芳史，大田明英，長澤浩平：再発性の腸管膜脂肪織炎を合併したシェーグレン症候群の一例．第13回日本シェーグレン症候群研究会．2004，9，23-24．日本シェーグレン症候群研究会抄録集 13：54-55．
- 3 小荒田秀一，春田善男，多田芳史，三田村未央，大田明英，長澤浩平：腺外型シェーグレン症候群

においてエフェクターメモリーCD4+Th1細胞は増加する．第13回日本シェーグレン症候群研究会．2004，9，23-24．日本シェーグレン症候群研究会抄録集 13：65-66．

- 4 小荒田秀一，春田善男，牛山 理，多田芳史，大田明英，長澤浩平：シェーグレン症候群におけるサイトカイン産生エフェクターCD4+T細胞のTh1/Th2バランス．第48回日本リウマチ学会．2004，4，15-17．日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集 181．
- 5 小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：Behcet病におけるエフェクターメモリーCD4+T細胞のTh1/Th2バランスの検討．第34回日本免疫学会総会．2004，12，1-3．日本免疫学会総会・学術集会記録集 34：286．
- 6 シェリフ多田野亮子，大田明英，春田善男，小荒田秀一，多田芳史，長澤浩平：強皮症患者由来線維芽細胞のコラーゲン代謝に及ぼすHepatocyte growth factor(HGF)の影響．第32回日本臨床免疫学会総会．2004，10，8-9．日本臨床免疫学会会誌 27(4)：270．
- 7 多田芳史，小荒田秀一，牛山 理，春田善男，大田明英，長澤浩平：MRL/lprマウスにおけるicosの発現とその作用．第48回日本リウマチ学会．2004，4，15-17．日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集 171．
- 8 Tada Y, Koarada S, Ushiyama O, Ohta A, Mak TW, Nagasawa K: Role of Inducible Costimulator in the Development of Lupus in MRL/lpr Mice. 12th International Congress of Immunology and 4th Annual Conference of FOCIS. 2004, 7, 18-23. Clin Invest Med 27(4): 197C.
- 9 多田芳史，三田村未央，春田善男，小荒田秀一，大田明英，鐘江 大，長澤浩平：シェーグレン症候群に伴う肝障害—自己免疫性肝炎合併例の検討—第13回日本シェーグレン症候群研究会．2004，9，23-24．日本シェーグレン症候群研究会抄録集．13：28-29．(シンポジウム)

研究助成等

職名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	長澤 浩平	平成16年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己免疫疾患における B細胞表面分子 RP105 の欠損の重要性と治療への応用	2,200
教 授	長澤 浩平	平成16年度厚生労働科学研究費	特定疾患対策研究事業 骨・関節系研究 班大腿骨頭壊死症調査研究分科会(分担)	ステロイド性大腿骨頭壊死症の予防に関する研究	1,200
教 授	長澤 浩平	平成16年度「民間との共同研究(区分B)」		自己免疫患者由来 RP105 陰性 B細胞の膜上に特異的に発現する分子の同定とそれに対する抗体の取得	1,000
講 師	多田 芳史	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ICOS の自己免疫疾患における作用の検討および治療への応用に関する研究	1,200
講 師	多田 芳史	平成16年度厚生労働科学研究費	特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班(分担)	混合性結合組織の病態治療と抗 U1RNP に関する研究	296
助 手	小荒田秀一	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己抗体産生 RP105 陰性 B細胞を標的とした免疫学的治療に向けた研究	1,500
助 手	小荒田秀一	平成16年度佐賀大学学内 COE	医学部若手研究者育成支援事業	自己免疫疾患における自己抗体産生 B細胞に対する治療方法の確立	1,000